

平成28年3月期 第2四半期  
決算概要

**KANeKA**

**The Dreamology Company**

— Make your dreams happen —

2015年11月10日(火)

株式会社 **力ネ力**

# 目次

- 業績概要 P. 3
- 四半期別 売上高・営業利益 P. 4
- セグメント別 売上高・営業利益 P. 5
- セグメント別 事業概況 P. 6
- 業績予想 P. 7
- トピックス P. 8

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 業績概要

- 売上高は、海外事業が拡大し、対前年2.4%の増収。
- 利益は、営業利益・経常利益・四半期純利益のいずれも大幅な増益。
- 成長シナリオの実現に向けて業績は順調に推移。

(単位：億円)

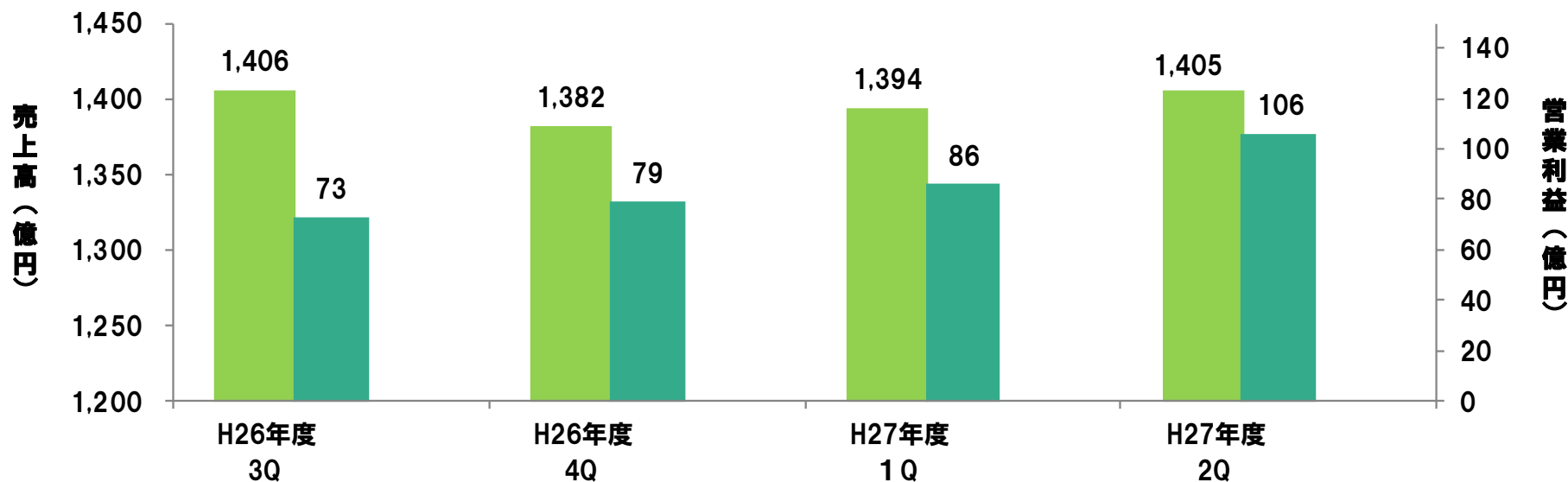
	H26年度 2Q累計	H27年度 2Q累計	増減	
売上高	2,734	2,798	65	2.4%
営業利益	95	192	97	102.4%
経常利益	96	158	62	64.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	54	99	45	82.2%
1株当たり四半期純利益	16.14円	29.66円		

# 四半期別 売上高・営業利益

- 売上高は、海外事業を中心に拡大基調が続いている。
- 営業利益は、成長軌道に回帰した前年度3Q以降、着実に拡大が進む。

(単位：億円)

	H26年度 3Q	H26年度 4Q	H27年度 1Q	H27年度 2Q
売上高	1,406	1,382	1,394	1,405
営業利益	73	79	86	106



# セグメント別 売上高・営業利益

- 売上高は4セグメントが増収。ライフサイエンス・合成繊維は、海外事業が好調に推移し2桁の伸び。
- 営業利益は全セグメントが増益。発泡樹脂製品・合成繊維が主力製品を中心に好調な販売だったほか、化成品・機能性樹脂は収益性が向上し、大きく増益。食品・エレクトロニクスは事業採算が改善。

(単位：百万円)

<セグメント別>	売上高				営業利益			
	H26年度 2Q累計	H27年度 2Q累計	増減		H26年度 2Q累計	H27年度 2Q累計	増減	
化成品	56,203	52,568	△3,634	△6.5%	795	2,471	1,675	210.7%
機能性樹脂	47,682	47,555	△126	△0.3%	5,359	7,359	2,000	37.3%
発泡樹脂製品	32,382	33,459	1,076	3.3%	1,502	3,148	1,645	109.6%
食品	67,887	70,693	2,806	4.1%	382	900	517	135.4%
ライフサイエンス	26,447	30,067	3,620	13.7%	4,350	5,752	1,401	32.2%
エレクトロニクス	21,238	20,892	△345	△1.6%	△502	572	1,074	—
合成繊維、その他	21,527	24,606	3,078	14.3%	5,519	8,708	3,189	57.8%
調整額	—	—	—	—	△7,924	△9,717	△1,793	—
計	273,368	279,843	6,475	2.4%	9,482	19,195	9,712	102.4%

# セグメント別 事業概況

(単位：百万円)

		H26年度 2Q累計	H27年度 2Q累計	
化成品	売上高	56,203	52,568	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩化ビニール樹脂は、国内需要は低調であったが、海外向け販売が増加した。</li> <li>塩ビ系特殊樹脂は、海外市場を中心に好調に推移。特に塩素化塩ビは、本年3月に稼働した米国での生産能力増強設備が寄与した。</li> <li>か性ソーダは国内需要が低調に推移。</li> </ul>
	営業利益	795	2,471	
機能性樹脂	売上高	47,682	47,555	<ul style="list-style-type: none"> <li>モディファイヤーは、欧州を中心に建築需要の落ち込みを受け海外販売が伸び悩んだが、製品差別化力の向上とコストダウンへの取り組み強化、新製品の市場開発進展により利益は順調に拡大。</li> <li>変成シリコンポリマーは、建築用途などで他素材からの置き換えが進み、海外市場を中心に販売が拡大。</li> </ul>
	営業利益	5,359	7,359	
発泡樹脂製品	売上高	32,382	33,459	<ul style="list-style-type: none"> <li>発泡スチレン樹脂・成型品は、農水産分野に加え土木分野でも販売が順調に拡大。</li> <li>押出法発泡ポリスチレンボードは、消費税率引上げ後に落ち込んでいた住宅関連市場が持ち直してきてはいるものの回復のペースは遅く、需要も低調に推移した。</li> <li>ビーズ法発泡ポリオレフィンは、欧州など海外市場での自動車分野を中心に販売数量が増加。</li> </ul>
	営業利益	1,502	3,148	
食品	売上高	67,887	70,693	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品は、国内需要の伸び悩みと低価格志向が継続する中で、食の多様化に対応すべく技術革新を進め、ニーズを先取りした新製品の販売に積極的に取り組んだ。</li> <li>円安等を背景とした主要原料価格の高止まりに対し、販売価格の修正や事業構造改革を進め、事業採算の向上に取り組んだ。</li> </ul>
	営業利益	382	900	
ライフサイエンス	売上高	26,447	30,067	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器は、血液浄化システム事業の一部製品の販売が伸び悩んだが、インターベンション事業は国内・海外向けの販売が堅調に推移。</li> <li>医薬中間体は、API（医薬品としての有効成分を有する原体）やバイオ医薬分野において販売が順調に拡大。</li> <li>機能性食品素材は、サプリメント市場における還元型コエンザイムQ10のヘルスケア効果の認知が着実に進み、販売数量が増加。</li> </ul>
	営業利益	4,350	5,752	
エレクトロニクス	売上高	21,238	20,892	<ul style="list-style-type: none"> <li>超耐熱ポリイミドフィルムと超高熱伝導グラファイトシートは、中国スマートフォン市場の需要低調などにより販売数量はやや伸び悩んだ。しかし、スマートフォンメーカーの新モデル立ち上げに伴って販売は着実に拡大。</li> <li>光学材料は、需要が堅調に推移した。</li> <li>太陽電池は消費税率引上げ後の住宅関連需要の回復が遅れている影響を受けたが、技術革新による世界最高レベルの変換効率をもつ新製品の市場開発や、生産体制見直しなどの事業構造改革を進め採算が改善。</li> </ul>
	営業利益	△502	572	
合成繊維、その他	売上高	21,527	24,606	<ul style="list-style-type: none"> <li>合成繊維は、アフリカ市場での頭髮分野の需要が旺盛ななか、当社の高品質・高ブランド力により、フル生産フル販売の状況が継続した。また、円安が進んだことも寄与し、収益が大幅に拡大した。</li> <li>マレーシアにおける新工場稼働により旺盛な需要に対応するとともに、コストダウンにも積極的に取り組んでいく。</li> </ul>
	営業利益	5,519	8,708	
調整額	営業利益	△7,924	△9,717	
合計	売上高	273,368	279,843	
	営業利益	9,482	19,195	

# 業績予想

- 上半期の業績は順調に推移したが、中国及び新興国の景気減速などにより経済環境の不透明感が続くことから、通期業績予想は変更していない。
- R & D強化による新規事業の創出とグローバル化による事業拡大を加速させ、事業構造の変革を進めていく。

(単位:億円)

	H27年3月期 (実績)		H28年3月期		前年比			
	2Q累計	通期	2Q累計 (実績)	通期 (予想)	2Q累計増減		通期増減	
売上高	2,734	5,522	2,798	6,000	65	2.4%	478	8.7%
営業利益	95	246	192	360	97	102.4%	114	46.1%
経常利益	96	248	158	330	62	64.8%	82	33.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	54	180	99	200	45	82.2%	20	10.9%

【H28年3月期 前提条件】 為替レート：120円/米ドル、135円/ユーロ 国産ナフサ価格：50,000円/KL

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# トピックス

欧州、中東およびアフリカへの更なる展開を目指して  
欧州統括会社を設立

グローバル

EMEA地域（欧州、中東およびアフリカ）での事業展開を加速するために、**欧州統括会社を10月1日に開設**しました。

統括会社は、経営戦略の検討・立案、研究開発、人事・労務、法務やガバナンスなどの業務を行い、**当該地域内の事業の推進役を担います**。

当社は欧州において、モディファイヤー・発泡ポリオレフィン・変成シリコーンポリマー、ライフサイエンス事業を行っており、40年余りにわたり当社のグローバル展開を牽引しています。

## <開設会社の概要>

会社名 : Kaneka Europe Holding Company N.V.

設立目的 : 欧州、中東およびアフリカ地域内の経営戦略企画・立案、当該地域内のガバナンス強化、当該地域内現地法人の業務支援

設立 : 2015年（平成27年）10月

本社 : ベルギー王国ブラッセル市

資本金 : 62.6百万ユーロ

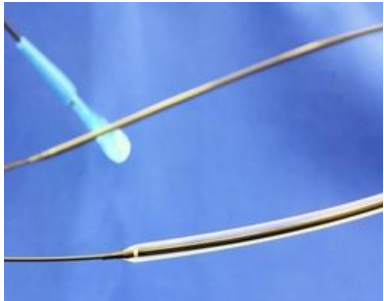
ご参考 : <http://www.kaneka.co.jp/service/news/151005>



# トピックス

## テルモ株式会社と共同で 末梢血管用PTAバルーンカテーテルを開発

新製品



末梢血管（腕や足の血管）用のPTAバルーンカテーテルが本年8月に米国での販売承認を取得し、10月より販売を開始しました。本製品は、2013年4月にテルモ株式会社と締結した共同開発契約に基づいて両社で製品開発を行った初めての開発品であり、従来品と比較して10%細く、血管を通りやすくなっています。今後、順次テルモ社への供給地域および供給製品・品種の拡大を予定しており、グローバル展開を加速していきます。

ご参考：<http://www.kaneka.co.jp/service/news/150928>

## 機能性表示食品「グラボノイド®」を販売開始

ユアヘルスケア（当社の100%出資子会社）は、本年4月1日に施行された機能性表示制度に対応する商品の第一弾として、機能性表示食品グラボノイド®の通信販売を9月18日より開始しました。この商品は、おなかの脂肪（内臓脂肪）をはじめとする体脂肪を減らすことをサポートします。



ご参考：<http://www.kaneka.co.jp/service/news/150915>

# トピックス

## 両面電極型結晶シリコン太陽電池セルで 変換効率の世界最高記録を更新

両面電極型ヘテロ接合結晶シリコン太陽電池として**世界最高となるセル変換効率25.1%（5インチサイズ）**を達成しました。  
今後は、この開発成果を一部活用し、銅電極ヘテロ接合結晶シリコン太陽電池の今年度中の販売を計画しています。

ご参考：<http://www.kaneka.co.jp/service/news/151026>

## 高視認性の安全作業服向けの着色加工技術を共同開発



使用イメージ

当社と小松精練株式会社は、**国際規格（ISO 20471）に適合する難燃性に優れた素材への着色技術を開発しました。**従来より非難燃素材での蛍光オレンジレッド色は存在しましたが、コットンを含んだ難燃性の素材で国際規格の色度、明度を満たすことは困難でした。  
本技術の開発により、**高視認性安全作業服市場の拡大**を狙うとともに、世界の労働者の安全確保に貢献していきます。

ご参考：<http://www.kaneka.co.jp/service/news/151027>

R & D



ヘテロ接合結晶シリコン太陽電池  
（開発品）

# KANUKA

**The Dreamology Company**

— Make your dreams happen —